



れんごうさが

No.201

2025年5月

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう
～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

RENGO SAGA

発行 日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人 松尾和寿 編集者 矢ヶ部教馬

〒840-0804 佐賀市神野東4-7-3 TEL0952-33-3705 FAX0952-33-2805

第96回佐賀県中央メーデー開催

連合佐賀は、昨年に引き続き晴天の中、どんどんの森イベント広場にて4月26日(土)、第96回佐賀県中央メーデーを開催しました。

はじめに東部地域協議会梅田副議長により開会宣言を行い、その後、草場会長より主催者代表挨拶を行いました。

挨拶要旨①『トランプ米政権と国内政治』②『2025春季生活闘争について』③『連合のその他取り組み』(1)人権運動(2)ジェンダー平等・多様性推進(3)平和運動の推進(4)地域協議会の運動 ④『地方選挙と第27回参議院議員選挙』の4点に絞って挨拶されました。

来賓挨拶として、山口佐賀県知事、坂井佐賀市長、立憲民主党原口衆議院議員、国民民主党草場事務局長、第27回参議院議員選挙富永あけみ予定候補者の5名の方から挨拶いただきました。

なお、各地区・地域の参加者数は下記のとおりです。

《計3,042名》

地域・地区	参加者	地域・地区	参加者
佐賀県中央・佐賀・神埼	1,355名	鳥栖・三養基	398名
伊万里・唐津・東松浦	371名	有田	95名
武雄・杵島・多久・小城・鹿島・藤津	823名	合 計	3,042名



△山口佐賀県知事挨拶



△坂井佐賀市長挨拶



△原口衆議院議員挨拶



△国民民主党草場事務局長挨拶



△富永あけみ予定候補者挨拶



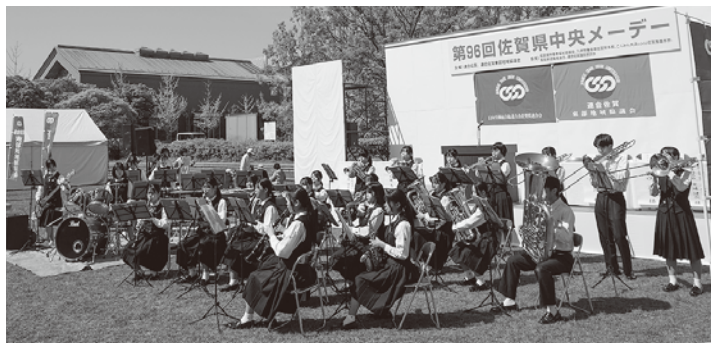
△山崎副会長による団結ガンパロー三唱



△司会(左)石隈女性委員長・猪古青年委員長

式典オープニングでは佐賀商業高校の吹奏楽部に演奏いただき、エンディングにはご当地戦隊なつレンジャーのヒーローショーを実施しました。会場テントあおぞら市場では、フードドライブや能登半島地震の復興支援として石川県産品の販売を行いました。その他、ものづくり体験や射的・ミニトレイン・バルーンアート・煙避難体験・お楽しみ抽選会を実施し、お子さま連れでも楽しめるイベントとなりました。

佐賀県中央メーデーの様子



△オープニングセレモニー ～佐賀商業高校吹奏楽部～



△射的



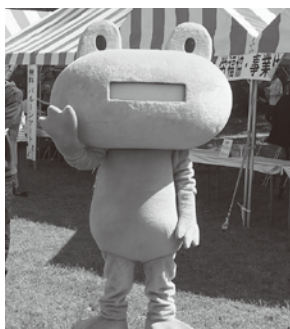
△バルーンアート



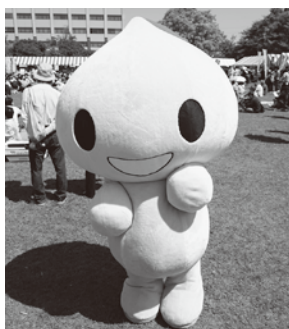
△ミニトレイン



△石川県産品販売 ～女性委員会～



△ツカエルさん ～九州ろうきん～



△ピットくん ～こくみん共済coop～



△ものづくり体験教室



△エンディングセレモニー ～なつレンジャーショー～



△お楽しみ抽選会

各地区メーデーの開催模様

◆有田地区



◆唐津・東松浦・伊万里地区



△長崎・広島に献納する千羽鶴作製

◆鳥栖・三養基地区



◆武雄・杵島・多久・小城・鹿島・藤津地区



連合佐賀女性委員会「3.8国際女性デー・学習会」

連合佐賀女性委員会は3月8日(土)、自治労会館において43名参加のもと「3.8国際女性デー・学習会」を開催しました。

〈主催者代表挨拶〉 連合佐賀女性委員会 石隈 由紀子 委員長

女性委員会を代表して、石隈委員長が「本日3月8日は、国際女性デーが国連で定められて50年目の節目となる国際女性デーです。また、男女雇用機会均等法も、制定から今年で40年が経過した。連合も1991年からジェンダー平等に関する取り組みを進め、少しずつジェンダー平等が前進してきた。多様な個性を認め合いながら、誰もが能力を発揮できる社会を目指し、真のジェンダー平等に向け共に頑張ろう。」と挨拶を行いました。

〈連合佐賀代表挨拶〉 連合佐賀 山崎 裕介 副会長 (ジェンダー平等・多様性推進委員会 委員長)

連合佐賀を代表して、山崎副会長が「今春闘において会社と協議を行っている中で、女性の働き方において、女性が役員の話を受けて上をめざそうと思っても、ライフイベントと重なったらハードルが高いという声が多く出てきた。一人妊娠・出産すると数年、男性に比べて、ハンディを背負うものになるという現状の制度があり、本当に平等がいいのか、公正公平になっているのかをしっかりと考えるべきと労使で共有したところである。今日は皆さんと一緒に色々勉強していきたい。」と挨拶を行いました。

〈学習会〉 (講演) 「働く女性一輝いて生きるために」

(講師) 佐賀労働局 雇用環境・均等室 室長 渡辺 園子 氏

渡辺室長より、最初に労働局とその関連機関(厚労省、労総基準監督署、ハローワーク)の役割と活動の紹介がされました。また男女平等の実現から少子化対策、女性活躍推進法、男女雇用機会均等法など性別を理由とする差別禁止やセクシャルハラスメント防止対策が規定されてきた女性労働施策の意義について話されました。「働く女性の活躍というテーマは、日本では50年以上にわたって議論がされています。性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め合い、互いに支え合う、公正な職場・社会を実現していきましょう。」と講演いただきました。



〈リフレッシュ講座〉

「植物の香りで心も体もリフレッシュ。空気清浄アロマルームスプレー作り」

(講師) 江口 優子 氏

リフレッシュ講座では、講師の江口氏よりアロマについて学習した後、参加者全員で「空気清浄アロマスプレー作り」を行いました。「リラックスブレンド」と「スッキリブレンド」の2種類の中から、その日の気分にあった香りのスプレー作りを行い、参加者からは「気分転換が出来た。癒された。」などの声もあり、楽しくリフレッシュが出来ました。



佐賀県・佐賀労働局・経営者5団体への要請行動

2025春季生活闘争の取り組みの一環として、3月21日(金)に佐賀県、佐賀労働局、県経営者協会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県中小企業家同友会、県商工会議所連合会に対し、要請行動を実施しました。

1. 佐賀県への要請概要

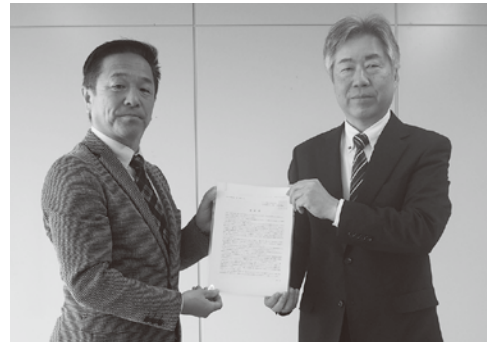
「労務費を含む価格転嫁」について、県より「価格転嫁伴走支援プロジェクトの取り組み状況」の説明を受け、中小企業への賃金アップに繋がる環境づくりの後押しとともに、消費者に対しても価格転嫁への理解が必要であることを共有しました。2つ目に「最低賃金」について今年度も県として最低賃金の引き上げに積極的に取り組むと説明を受け、地域における適正な水準確保の重要性など意見交換を行いました。また「公契約条例」の検討にあたり、まずは担当者の勉強会実施の意向が示され、取り組みの確認を行いました。



△佐賀県 産業労働部との意見交換

2. 佐賀労働局への要請概要

「あらゆるハラスメント対策」について、中小企業もハラスメント防止措置が義務化されたが、セクハラ、パワハラ、カスハラなど相談が増加しており、労働者の尊厳を守るための対策の必要性を確認しました。また「すべての労働者の安全・健康対策」において、労災認定が増加しており、特にメンタルヘルス(パワハラ)、精神障害、高齢者の転倒による労災が増えています。高齢化が進む中、職場環境の安全対策の必要性を共有し、対策の支援を求めました。



△佐賀労働局長への要請書手交

3. 経営者5団体への要請概要

「賃金引き上げ」について、佐賀県の賃金引き上げのスピードが早く、中小・零細企業では、価格転嫁が進まず、大きな負担となっています。全国平均と比較しても佐賀県の賃金引き上げ率が高いが、最低賃金を下回る企業が多いことが要因だと指摘されました。経営が厳しい一方、人手不足・人材確保のため、防衛的な賃金引き上げもやむを得ないという企業も多くなっています。春闘は、労使で真摯に話し合いを積み重ねる機会でもあります。労使の認識共有が図れるよう、支援・指導を求めました。



△経営者協会への要請書手交

価格転嫁に理解 消費者へ周知を
連合佐賀、県に要請書
連合佐賀は21日、春闘に合わせて佐賀県に要請書を提出し、企業が適切に価格転嫁できる環境整備などを求めた。

要請は6分野11項目で、生活困窮者の自立支援や保育現場の環境改善、カスタマーハラスメントの防止に向けた実態把握や対策の実施などを盛り込んだ。

連合佐賀の草場義樹会長が同日、佐賀県市町会館を訪れ、県産業労働部の井手宣拓部長に要請書を手渡し、話をした」と述べた。

要請書は佐賀労働局、県経営者協会や県商工会議所連合会など経営5団体にも提出した。(横田千晶)

提出し、企業が適切に価格転嫁できる環境整備などを求めた。

要請は6分野11項目で、生活困窮者の自立支援や保育現場の環境改善、カスタマーハラスメントの防止に向けた実態把握や対策の実施などを盛り込んだ。

連合佐賀の草場義樹会長が同日、佐賀県市町会館を訪れ、県産業労働部の井手宣拓部長に要請書を手渡し、話をした」と述べた。

要請書は佐賀労働局、県経営者協会や県商工会議所連合会など経営5団体にも提出した。(横田千晶)

△2025.3.22 佐賀新聞

2025ユースフォーラム

連合佐賀青年委員会では若者の政治に対する意識を高めることを目的に5月10日(土)、構成組織や青年委員会役員など総勢38名の参加のもとユースフォーラムを開催しました。ユースサミット(幹事会)の中で佐賀県の施設などを見学することで、より身近に県の政策や取り組みを実感するようなフォーラムにしていきたいという事で県の施設見学を行いました。

【視察①九州佐賀国際空港】

九州佐賀国際空港では、佐賀県空港課の青山課長から佐賀空港整備に向けた様々な取り組みが説明されました。佐賀空港は九州の主要空港の中では唯一県が管理している空港となっていることから、県独自で空港の様々な問題に対し対応できることを強みに機能強化や魅力向上に努めていると説明がなされました。また東側ターミナルビルを拡張したことでプレミアムラウンジの完備や待合室の増設を行う事で2便同時時間帯での搭乗が可能になった事、さらには喫煙所を待合室に作ることで保安検査場を早めに通過していただくようにしたこと等、県独自で空港機能をさらに高めていくような努力をされていることが分かりました。空港内を隅々まで説明され、参加者からも大変良い機会だったとの意見をいただきました。

【視察②佐賀城本丸歴史館】

佐賀城本丸歴史館では、副館長の宮崎様から佐賀城本丸御殿について説明していただきました。説明では天保期(1835年前後)の遺構を保護しながら復元した施設で木造建造物としては全国最大規模の施設であることなど説明を受けました。また本丸歴史館内では幕末維新期の佐賀藩の取り組みをテーマごとに分けて紹介されており、幕末の佐賀が名実ともに時代の最先端を歩んでいたことなどが展示されていました。

【昼食交流・富永予定候補への激励行動】

最後に昼食交流として富永予定候補も参加していただき、当日見学した施設に関するクイズ大会など参加者交流を行い、富永氏からも挨拶をいただきました。最後にユースフォーラム参加者から富永予定候補者へ寄せ書きをし、猪古委員長から贈呈を行いユースフォーラムを終りました。



△佐賀城本丸歴史館での説明の様子



△交流会の様子



△参加者全員での寄せ書きと共に写真撮影

編集後記

先日、連合佐賀ユースフォーラムで佐賀城本丸歴史館へ行ってきた。日本や佐賀の歴史には若干興味はあるものの、歴史館などへは行く事もなく、今まで過ごしてきたので少し楽しみにしていた。歴史館の玄関を上がってすぐに、320畳の大広間が広がる光景は圧巻であり、歴史館は日本の近代化に貢献した佐賀の先人たちの活躍を振り返ることができる良い機会となった。観覧は無料となっているので皆さんもちょっとだけ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

さて、今年7月には第27回参議院議員選挙が行われる。連合佐賀推薦として自治労出身の富永あけみ氏が挑戦する。残り2カ月余り、必勝に向けた取り組みを連合佐賀で進めていく。連合佐賀に集う組合員の最後の最後まででの協力をお願いする。佐賀の先人たち同様、この夏の決戦を佐賀から変えていこう!(K・Y)